

平成17年度

新生涯学習コース紹介

平成17年度より、教育コースの一部が変更になりました。各部署での活動が定着してきたために、固定チームコースは終了です。接遇コースは看護部としてではなく、病院全体として接遇研修に取り組むことになりました。教育コースに新しくACLS・嘔下訓練が加わります。



嘔下訓練コース

担当 榎村通江

嘔下障害といえば誤嚥、誤嚥といえば誤嚥性肺炎。死因統計では昭和初期までの死因第1位を肺炎が占めていました。その後肺炎は一時死因統計からは影をひそめていました。平成7年頃より増加し始め今では第4位に位置しています。中でも注目すべきは平成13年以降肺炎による死亡者の年齢は80才以上の高齢者に増加を示しています。高齢社会の現在、肺炎の原因に嘔下障害によるものが増加していることが考えられます。

そこでコースの研修目標を『嘔下障害を理解して嘔下訓練の技術を身につける』としました。具体的には嘔下を司る機能と、嘔下訓練の実際について、夫々耳鼻科の竹山先生と宮田言語療法士さんより講義をして頂きます。実際の現場の看護に役立つ研修になることは保証いたします。

ACLSコース

担当 杉山久美子

街中や、病室で意識のない方に遭遇した時、うるたえてしまったり、頭が真っ白になってどう行動していいのかわからなくなってしまう経験はありませんか。

また、看護師として救急医療・災害時医療に参加してみたいと思っっている方はいらつしやいませんか。ACLSコースはそんなあなたのために救急蘇生法を基礎から学ぶコースです。

一次救命処置(BLS)を救急隊員の方を講師に迎え実技を通してマスターすること。システム化され、適切に行われる二次救命処置(ACLS)を把握することを目的として研修を進めています。今、救急医療の中で注目をあびているシステムです。今年度、新に生涯学習コースに加わりました。

各教育コース スローガン



基礎Ⅰ	基礎Ⅱ	基礎Ⅲ	エルダー	パートナース	ヘルパー	看護を 考える会	情報開示への 記録を 考える会	フィジカル アセスメント
反応しよう！ (種から芽を出そう！)	自分のことは自分で！ (芽が出て膨らんで花を咲かせよう)	自分以外にも目を向けよう！ (咲かせた花に蜜をつけよう)	ほめ合い、認め合い	災害時私は何が出来る？	ヘルパーの力を 発揮しよう！	キーワードは「在宅」	情報開示は何の為に 考えてみましょう！	使ってみよう！ フィジカルアセスメント